

令和7年度 川崎市平和館 原爆展

天然色で見る広島・長崎と 80年後の世界



呉市の吉浦町（現：若葉町）の海軍工廠砲弾実験部からみた広島原爆のきのこ雲
【撮影者：尾木正己】 【写真カラー化：渡邊英徳（東京大学大学院）】

令和7年**7月26日**(土)～**8月24日**(日)

川崎市平和館 1階屋内広場

午前9時～午後5時

(休館日：7月28日、8月4日・12日・18日・19日)

【主催】川崎市平和館

【協力】東京大学大学院 渡邊英徳研究室、広島平和記念資料館、公益財団法人
広島平和文化センター、長崎原爆資料館、日本非核宣言自治体協議会

入場無料



1945(昭和20)年8月6日と8月9日は、多くの人々に記憶されている日でしょう。8月6日は、アメリカの爆撃機「エノラ・ゲイ」が広島に原爆を投下した日、8月9日はアメリカの爆撃機「ボックスカー」が長崎に原爆を投下した日です。人類史上最初で、今のところ最後となっている、核兵器の実戦での使用は、忘れてはいけない私たちの記憶となっています。そんな私たちの記憶の風景はモノクロです。記憶は教科書や新聞、テレビなどのモノクロ写真や動画により形作られるからです。

戦後80年の節目の年に開催する特別展では、東京大学大学院の渡邊英徳研究室のご助力により、私たちが日常的に見ている風景と近い、カラー化された広島・長崎の写真を展示します。天然色の広島・長崎は、ともすればモノクロの遠い昔の風景として捉えがちなヒバクの記憶を、より私たち事として感じさせてくれます。

天然色の広島・長崎の写真に加え、現在の核兵器の概況、核軍縮の進捗のパネル展示も行います。ぜひ、ご覧になり、核兵器のない未来を共に考えませんか。

特別展関連イベント 上映会1

風が吹くとき

When the Wind Blows

監督 ジミー・テルアキ・ムラカミ
原作・脚本 レイモンド・ブリッグズ

平凡な生活をおくるイギリスの老夫婦が、核戦争に翻弄され、放射線被害と食料・水不足で衰弱していく様を描く、アニメーション作品。

上映日: 8月2日(土) 14:00～(85分)

上映会場: 川崎市平和館1階屋内広場

要申込(先着40名様)

右の2次元コード、または川崎市平和館HPのフォーム、お電話(044-433-0171)、またはFAX(044-433-0232)でお申し込みください。



無料



©MCMLXXXVI

特別展関連イベント 上映会2

ヒロシマナガサキ

White Light, Black Rain: The destruction of Hiroshima and Nagasaki

監督・製作: スティーヴン・オカザキ

25年にわたる、ヒバクシャと原爆投下に携わったアメリカ人へのインタビューで構成された、ドキュメンタリー映画

上映日: 8月16日(土) 14:00～(86分)

上映会場: 川崎市平和館1階屋内広場

要申込(先着40名様)

右の2次元コード、または川崎市平和館HPのフォーム、お電話(044-433-0171)、またはFAX(044-433-0232)でお申し込みください。



無料



©2007 Home Box Office, Inc.